

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【公表番号】特表2019-515654(P2019-515654A)

【公表日】令和1年6月13日(2019.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2019-022

【出願番号】特願2018-548758(P2018-548758)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/6851 (2018.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 P 3/10 (2006.01)
 A 6 1 P 3/04 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 K 48/00 (2006.01)
 A 6 1 K 31/7105 (2006.01)
 A 6 1 K 31/337 (2006.01)
 G 0 1 N 33/15 (2006.01)
 G 0 1 N 33/50 (2006.01)
 G 0 1 N 33/53 (2006.01)
 C 1 2 Q 1/6837 (2018.01)
 C 1 2 Q 1/6869 (2018.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/6851 Z N A Z
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 3/10
 A 6 1 P 3/04
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 K 48/00
 A 6 1 K 31/7105
 A 6 1 K 31/337
 G 0 1 N 33/15 Z
 G 0 1 N 33/50 Z
 G 0 1 N 33/53 M
 G 0 1 N 33/53 D
 C 1 2 Q 1/6837 Z
 C 1 2 Q 1/6869 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月12日(2020.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

肥満及び/又は糖尿病を処置するための候補薬剤を識別する方法であって、

(a) 哺乳類細胞を試験薬と接触させて、

(b) 接触させた後、基準値に対する哺乳類細胞のClpPの発現レベル及び/又は活性レベ

ルを測定し、

(c) 前記試験薬が前記基準値に対して前記発現レベル及び / 又は前記活性レベルを低下させたと判断し、

(d) 前記試験薬を肥満及び / 又は糖尿病を処置するための候補薬剤として識別することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記哺乳類細胞はマウスの細胞であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記哺乳類細胞はヒトの細胞であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記哺乳類細胞はインビトロにあることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記哺乳類細胞はエクスピボにあることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記哺乳類細胞はインビボにあることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

前記哺乳類細胞は肝実質細胞であることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

接触させる際に、前記試験薬をマウスに投与することを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 9】

前記基準値を得るためにステップ(a) で接触させる前に前記マウスのC1pPの発現レベル及び / 又は活性レベルを測定することを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記試験薬は小分子又はポリペプチドであることを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

定量RT-PCR、マイクロアレイ又はRNA シーケンシングを使用して、RNA 発現レベルであるC1pPの発現レベルを測定することを特徴とする請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

タンパク質の発現レベルであるC1pPの発現レベルを測定し、測定する際に、抗C1pP抗体、質量分析及び / 又は酵素結合免疫吸着測定法 (ELISA) を使用してC1pPタンパク質を検出することを特徴とする請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

TNF 受容体関連タンパク質 1 (TRAP1)、熱ショックタンパク質ファミリー A (Hsp70) メンバー 9 (Grp75)、ロイシンリッチペンタトリコペプチドリピート含有 (LRPPRC)、カゼイン分解性ミトコンドリアマトリックスペプチダーゼシャペロンサブユニット (C1pX)、オルニチンアミノトランスフェラーゼ (OAT) 及びLon ペプチダーゼ 1 (LonP1) から選択された一又は複数のタンパク質の量の増加を測定することにより、C1pPの活性レベルの低下を測定することを特徴とする請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

複数の試験薬をスクリーニングして、肥満及び / 又は糖尿病を処置するための一又は複数の候補薬剤を識別することを特徴とする請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

肥満及び / 又は糖尿病の個体を処置するための組成物であって、

C1pPの阻害剤を含んでいることを特徴とする組成物。

【請求項16】

C1pPの前記阻害剤は、C1pPの発現を特異的に低下させるRNAi剤又は遺伝子編集剤であることを特徴とする請求項15に記載の組成物。

【請求項17】

C1pPの前記阻害剤は小分子であることを特徴とする請求項15に記載の組成物。

【請求項18】

前記小分子は - ラクトンであることを特徴とする請求項17に記載の組成物。

【請求項19】

- ラクトンは、(3RS,4RS)-3-(non-8-en-1-yl)-4-(2-(ピリジン-3-yl)エチル)オキセタン-2-one、又はその薬学的に許容される塩であることを特徴とする請求項18に記載の組成物。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JP2019515654A5	公开(公告)日	2020-04-23
申请号	JP2018548758	申请日	2017-03-15
[标]申请(专利权)人(译)	杰伊大卫格莱斯顿制度津市		
申请(专利权)人(译)	周杰伦大卫格莱斯顿制度津市		
发明人	フアン,ヤドン シュー,チン マーリー,ロバート ダブリュー.		
IPC分类号	C12Q1/6851 A61K45/00 A61P3/10 A61P3/04 A61P43/00 A61K48/00 A61K31/7105 A61K31/337 G01N33/15 G01N33/50 G01N33/53 C12Q1/6837 C12Q1/6869		
CPC分类号	A61K31/365 A61K31/44 A61P1/16 A61P3/04 A61P3/10 C12Q1/37 G01N2500/10 G01N2800/042 G01N2800/044 A61K9/0019 C12Q1/686 G01N33/5067 G01N33/5091 G01N33/6848		
FI分类号	C12Q1/6851.ZNA.Z A61K45/00 A61P3/10 A61P3/04 A61P43/00.111 A61K48/00 A61K31/7105 A61K31/337 G01N33/15.Z G01N33/50.Z G01N33/53.M G01N33/53.D C12Q1/6837.Z C12Q1/6869.Z		
F-TERM分类号	2G045/AA24 2G045/BB20 2G045/CB01 2G045/DA14 2G045/DA36 4B063/QA01 4B063/QA13 4B063/QA19 4B063/QQ08 4B063/QQ52 4B063/QR08 4B063/QR42 4B063/QR62 4B063/QS25 4B063/QS34 4B063/QX01 4B063/QX02 4C084/AA13 4C084/AA17 4C084/NA14 4C084/ZA701 4C084/ZA702 4C084/ZC201 4C084/ZC202 4C084/ZC351 4C084/ZC352 4C086/AA01 4C086/AA02 4C086/BA17 4C086/EA16 4C086/MA01 4C086/MA04 4C086/MA66 4C086/NA14 4C086/ZA70 4C086/ZC20 4C086/ZC35		
优先权	62/309311 2016-03-16 US		
其他公开文献	JP2019515654A		

摘要(译)

种类代码：A1提供了用于鉴定用于治疗肥胖症和/或糖尿病的候选药剂的方法和组合物。此类方法包括，例如，使哺乳动物细胞或细胞群与测试试剂接触，并测量哺乳动物细胞或细胞群细胞中ClpP的表达水平和/或活性水平。此外，提供了用于治疗个体（例如，肥胖个体和/或患有糖尿病的个体）的方法和组合物。治疗方法包括向个体施用ClpP抑制剂（例如，以预防或减少体重增加，增加胰岛素敏感性和/或增强葡萄糖耐量）。